

地域独自の薬物乱用防止啓発活動の取組み —地域住民参加型薬物乱用防止ポスターコンテストの開催—

御殿場健康福祉センター

○三枝良輔、伊東春菜、宮本憲吾、田中恵美

【要 旨】

近年、若年層における大麻使用やオーバードーズが社会的課題として顕在化し、地域での見守りや日常的な関わりを通じた薬物乱用防止の重要性が強く指摘されてきている。こうした背景を踏まえ、御殿場地区薬物乱用防止指導員協議会では、地域住民が主体的に関わる新たな啓発手法を検討してきた。

今回、県事業として長年実施されてきたポスター・標語コンテストの終了を機に、地域独自の取組みとして新たな手法で「御殿場地区薬物乱用防止ポスターコンテスト」を企画・実施した。本事業は、子どもから大人まで幅広い世代が薬物乱用問題を身近な課題として考え、地域で問題意識を共有することを目的としたものである。

その結果、児童生徒を中心に多くの住民が参加し、地域全体で薬物乱用防止メッセージを共有する基盤形成の一助となった。本発表では、本事業の実施方法、成果、及び地域活動としての意義について報告する。

【方 法】

御殿場地区でもオーバードーズが身近な問題となり、低年齢化が懸念されている。また、県内では小学校5年生から薬学講座を実施しており、早期から適切な知識を届ける必要性が高まっていた。そこで、児童生徒が参加しやすく、家庭とも協働しやすい仕組みとするため、表1のとおり独自の取組及び要件を加えた募集要領を作成した。

表1 本事業の主な取組及び要件

	取組及び要件
内部調整	<ul style="list-style-type: none">管内の小学生（5年生以上の高学年）から高校生までの生徒を対象小学生が参加しやすいよう、小学生に馴染みのあるポスターを部門別（大麻、オーバードーズ、総合）に募集（募集期間は夏休み期間7/1～9/1）作品条件に「二次予防・三次予防に配慮した表現」を取入れ入賞者は「御殿場市ふれあい広場」の来場者による投票形式で決定
外部調整	<ul style="list-style-type: none">事前に市町教育委員会に相談し協力を得た ＜教育委員会からのアドバイス＞① 小学生が理解しやすく、わかりやすい言葉を使用した募集要領を → 生徒向けの募集要領を作成した（図3）。② 夏休みの宿題は家庭で相談することが多いため、家族にも読んでもらえるようなメッセージ入れる → 厚生労働省HP（大麻・オーバードーズ）をQRで紹介（図3）。③ 「二次予防・三次予防に配慮した表現」がわかりにくいので、例を提示する。 → 生徒向け募集要項の裏にデザイン学校が作成したイラストを印刷④ 学校校長会での事業説明を → 教育長を含め全小中学校長へ、全生徒への募集要領配付を直接依頼

【結果】

①応募結果

小学生から高校生まで30点の応募があり、校内選考を含め63名が参加した(図1)。初年度でありながら小学生の参加が特に多く、オーバードーズ部門への応募が最多であった。

②選考方法等の再検討

応募数に偏りがあったため、当初予定していた学年別選考から、作品のメッセージ性を重視した投票方法へ変更した。「心に響く」「前向きな気持ちが伝わる」「薬物乱用防止のメッセージが強い」という3観点で投票してもらう形式とした(表2)。

この方式により、投票者は作品を繰り返し鑑賞し、薬物乱用問題について主体的に考える機会となった。



図1 ポスターコンテスト応募結果



図2 投票の様子

表2 新たに設置した賞

こころに響く賞	「薬物乱用防止へのメッセージが心に響いた」作品
前向き応援賞	「前向きな気持ちややる気を感じる」作品
ダメ。ゼッタイ賞	「薬物乱用防止のメッセージが強く伝わる」作品

③投票結果

御殿場市の健康福祉祭「第42回御殿場市ふれあい広場」(来場者約5,500人)にて、来場者による投票形式において行い、投票数は510票だった(図2)。また、選考条件を設定して、入賞14作品を決定し、当所のHPで発表した。

【考察】

本事業は御殿場地区で初めての試みであり、夏休み課題の一つとして選んでもらえるか懸念があった。しかし、展示スペースの上限を超える応募が得られ、地域における関心の高さと受容性が確認できた。また応募がなかった学校においても、家庭に持ち帰る募集要領が保護者との対話を生むなど、応募以外の間接的な啓発効果も認められた。

投票方式をメッセージ性重視に再設計したことで、単なる技術評価に留まらず、作品に込められた「悩みに寄り添い、応援する姿勢」が来場者へ伝わり、薬物乱用防止の意義を深く考え

る契機となった。

また、応募作品は地域薬局にも掲示し、住民が日常的に目にする環境を整えた。これは、悩みを抱える人がメッセージに触れることで相談行動を促す可能性もあり、地域全体で支え合う雰囲気づくりに寄与した。さらに、応募者全員への参加賞にメッセージを添え、自身が誰かの助けになることを伝えた（図4）。

一方、一部作品に必要以上に恐怖心をあおる描写も認められた。これらは薬物依存者への理解や二次予防・三次予防の視点が十分浸透していないことを示唆している。今後は、薬学講座等の場において、依存に苦しむ人に寄り添う気持ちを育むことも含め、より丁寧に啓発していく必要がある。

本事業は地域住民参加型の新たな啓発活動として一定の成果を示したが、周知にはまだ課題が残る。継続的に実施し、地域全体で薬物乱用問題を共有し続ける環境づくりが重要である。

入賞作品はポスター・広報物・展示等で幅広く活用し、さまざまな世代に薬物乱用防止を「身近な課題」として認識してもらえるよう取り組んでいきたい。

さらに、この事業は行政が対象者に直接発信するだけではなく、地域住民・学校・関係機関が主体的に問題に向き合える仕組みづくりを目指したものである。行政が地域に働きかけ、地域自らが見守り・相談しやすい環境を育むことで、地域ぐるみの薬物乱用防止の土台を構築していきたい。

御殿場地区薬物乱用防止 ポスターコンテストのお知らせ

～薬を正しく使うことを伝えるポスターを募集します～

テーマ

- 薬物乱用ってなに？どうしてダメなの？
- 「大麻」って聞いたことある？
- 薬をたくさん飲んでしまう「オーバードーズ」って？

★ポスターは、必要以上に怖がらせたりする表現ではなく、正しく使うこと、まわりの人にやさしく伝えることを大切にしています。

参加できる人

- 御殿場市、小山町の学校に通っている小学5年生から高校生までの生徒。

賞品があるよ！

- 入賞作品には記念品が贈られます。
- 全員に参加賞があります！

ポスターのルール

- 大きさ：四つ切り(54×38.3cm)
- 自分で描いた新しい作品(1人1枚)
- 好きな道具で描いてOK！
- 例：絵の具、クレヨン、色鉛筆、貼り絵等
- 特定の商品名などは描かないでね。
- こちらを参考にしてみてください
厚生労働省HP！

ポスター展示と投票

- 令和7年9月27日(土)「第42回御殿場市ふれあい広場」で展示します。
- 来てくれた方に投票してもらって入賞作品を選びます。

しめきり

- 令和7年9月1日(月)までに学校に提出してね！

御殿場地区薬物乱用防止指導員協議会
事務局 静岡県御殿場保健所 衛生業務課 0550(82)1223



Thank you

令和7年度 御殿場地区薬物乱用防止
ポスターコンテストにご参加くださり、ありがとうございます。

皆さんの思いがこもった作品は、御殿場市・小山町の薬局に展示していただきます。きっと、誰かの心に響き、助けになることを祈って…



御殿場地区薬物乱用防止
指導員協議会

図4 参加賞に添えたメッセージ

図3 助言により作成した生徒用募集要領